

モニター通信 No.5

皆さんから寄せられた「モニター通信 1月分」を紹介します。

「成年年齢引き下げについて」

～2022年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられます。それまでの間、社会が、または若者がどのようなことに気をつけていくことが必要かヒントはありますか。～

モニターから No.1

ここ数年前よりとみに若年齢による凶悪犯罪が増加傾向にある中で、成年年齢の引き下げにより、今までのように未成年であれば少年AとかBでの報道でしたが、今後は※個人名で報道されるため凶悪犯罪の抑止効果は若干あると思います。(※法制審議会で議論中)

しかし成年年齢が18歳に引き下げられても精神的な面はまだ未熟であり、それには大人の私たちや地域社会での地道な指導・育成が大切であり、何と云ってもその基礎となるところは家庭での躾が第一と思います。法治国家である我が国では、犯罪を犯せばそれなりの処罰を受けることは必至で、決して甘えは許されないとします。ちょっとした出来心から犯罪に手を染めてしまえば、前科者となることを肝に銘じなければならないと思います。

最近の新聞報道を見ると参政権だけ成年扱いで、犯罪に対しての対処について十分な議論がされないために、もう少しそれぞれの段階の議論や意見の啓蒙が必要と思います。

モニターから No.2

未成年の若者が成人となると選挙権などの権利が与えられるだけでなく、責任も負わなければなりません。たとえば「契約」という点だけに注目しても、未成年であれば解約できる契約であっても成人であればそれができないことがあります。それは未成年の若者にはまだ判断力が不足しているとみなされるからでしょう。その成年年齢が急に2年引下げられるとしたら影響は少なくないと思います。就職にしろ、大学進学にしろ18歳で高校を卒業してからの2年間は多くのことを経験し、判断力も含め人間として大きく成長していく期間だからです。その期間がなくなるとしたら少なくとも高校で成人となったときの権利や義務、責任について具体例をあげてしっかり説明しておくことが重要だと思います。

たとえば土浦市には出前講座があり、要望があれば消費生活センターの方が講師として話をされるのですが、それを高校でも行って、若者が消費者としてどんなトラブルに巻き込まれているかを知ってもらいたいと思います。また高校の国語では従来の文学作品だけでなく、契約書などの実用文を読むことも教えることが決まったようですが、これにも期待しています。

モニターから No.3

成年年齢の引き下げにより私は社会又は若者は先ず人間として守るべきことを遵守していただきたいと思います。

具体的には、先ず政府広報ラインによる次の事を厳守すべきと考えます。

○できる事

親の同意がなくても契約ができること。

一部の国家資格を取得すること。

10年有効のパスポートの取得。

国政選挙等への参加。

○20歳にならないと実行してはいけない事

飲酒・喫煙。

競馬・競輪・オートレースの投票券の購入。

次に私達人生の先輩から遵守していただきたい事は次の事です。

①体だけではなく心も大人になっていただきたい。

②まずは大人になって義務と権利を履き違わないこと。

③人には迷惑をかけないこと。

④20歳まで政府広報ラインの禁止事項は厳守すること。

⑤人に頼らず自分の意思を持つこと。

モニターから No. 4

成年とは『人が成長して責任ある行動能力を有する年齢』とありますが、子供から保護者の元から自立し大人として自身の立ち位置を自ら定め、成人として社会に直面して行く中において日々報じられる若年層による痛ましい事件や卑劣な性犯罪の多発！原因には自己中心的な制御出来ない感情とモラルの欠如・・・半面には、昨年の大災害に沢山のボランティアにどれ程感動させて頂けたでしょう！忘れません。他人の事を自分事に思いやれる心！支え合える優しさと勇気と現実 現状に負けない強さ！を目の当たりに見せて頂けこのような成年成人が各々の個性を他の為に生かして行かれたなら、どんな小さな一歩でも、きっと世界平和にも繋げて下さるのではないのでしょうか。新成人に託すには まず私自身の一歩も！

モニターから No. 5

2022年4月から民法改正により、成年年齢は18歳に変わる。18歳成年年齢になると何が変わり、何が変わらないのか。政府からの広報がテレビやインターネットですでに出されているが、まだ先のこともあり、自分も含めて若者も大人もよく内容を知らないように思う。何度も繰り返して、マスコミや学校教育で取り扱って、若者が成人への意識を高められるようにしてほしい。

18歳選挙権と同様に重要な改正が、「18歳になったら親の同意がなくても携帯電話やクレジットカード、ローンを組むなどの契約ができ、契約に対して自分で責任を負わなければならない。」ことである。

契約に対する知識やルールを知らない若者を狙った悪徳業者のターゲットになる恐れがある。民法改正の前から、18歳前後の若者を対象に、学校やマスコミ等で、契約を結ぶ際の注意点や契約の必要性を検討する力、契約に関する相談やトラブルの対処について、良く教えて欲しい。また家庭でも日頃から、物を購入したり契約したりするときはどういうことに気を付けるか、親子で一緒に話し合ったり、契約の場に立ち合わせることも大事な消費者教育だと思う。

モニターから No. 6

成年年齢が18歳に引き下げられることによって、まず第一に思いつくことは選挙権が与えられること、クレジットカード等が自分の意思で持つことが出来るようになることなどです。これだけ見ても、一番のメリットは自由に社会と関わること、選挙権を持つことによって政治に参加しやすくなることだと思います。

私個人の考えは、今まで通り20歳で成人というのが理想です。自分自身が18歳のころはまだまだ子供で、家族間のつながりが多くて、社会に関わることなどあまりなかったような気がします。18歳という年齢は大人の入り口で、まだまだ学習しなければならないことがたくさんあります。大学生になって学生同士で意見を交換し学び合い、あるいは社会人になってさまざまな分野の人たち、いろいろな年齢の人たちと交わり視野を広げたりしながら、大人の階段を上っていきます。賛否両論あると思いますが、心も体も十分成長した20歳が、やはり成人としてふさわしいのではと思います。

モニターから No. 7

「成年年齢の引き下げ」についてのコメントならいろいろあるけれど、それは制度として決定してしまったのだし、それが実施されるのは二年後で、「それまでの間」に何をするかとのことであるが、その「それまでの」二年間はそんなに重要な期間であるのかがわからない。これが一年間であっても二か月間であっても、その年齢でない者にとっては、何かする、あるいはしなければならないことは、何もなさそうに思う。自分がそういう年齢ではないが、周囲にそういう年齢に当てはまる者は三人いるので、彼らに何をしてやれそうか、何をアドバイスしてやれそうかを考えてみた、「それまでの(二年)間」ということは無視して。

正確には知らないが、二年後からは飲酒ができるということなのか、そうであれば、成年に達したからと言っていきなりどんどん飲めとは言わないことにしよう。酒は医学的には人体にとって毒物であることは間違いないのだから。また喫煙は絶対に勧めない。わたし自身一度も喫煙したことはなく、したがって喫煙に関して出費したことは一度もなく、喫煙しなかったからとそれで不便を感じたことはなく、医学的には喫煙は何の利益もないことは、これも間違いないそうであるから。世界的には、日本はたばこの値段が最も安いそうだから、こんな不名誉なことはない。それこそ、これからの二年間のうちに値上げして、若いうちには手の出せないような高価なものにしてしまうべきであろう。

法律的にはどういう義務を負うようになるのか、選挙権が付与されるだけでなく、いろいろな義務が増え、責任を負わされることに注意しなさいと伝えたい。もう子ども扱いはしてもらえない。「おとな」となるんだ、「こども」ではなくなるんだと「これからの二年間」言い続けてやろうかと考えた。

モニターから No. 8

成年年齢の引き下げまで時間があると思いますので、学校の授業でしっかりと「大人としての責任」について勉強することが大切だと思います。もちろん、家庭でも親子でこのことについて話し合うことも必要です。

モニターから No. 9

18歳に引き下げて何が問題なのか。少年法・民法・公職選挙法その他いろいろあるようですが、自分の子供がすでにその領域を超えていることから他人事？線引き程度？

一番気になるのがやはり、大人になっているんだから自分で責任取れ、20歳だから取れる、18歳だから取れない？どちらにせよ取れる年齢だと私は思わない。周りが面倒見てあげるしかないと思うし、悪い方向に進まないように気に掛けながら、若い人たちの行動に眼を向けていきたいと思う。(あなた達はもう大人なんだからしっかりして頂戴ね)

何か起きてからの相談する割合の記事を読んだことがあります。誰が何処へ相談するか？当然のことながら本人がすればいいでしょうが、かなり少ない。相談してくるのはやはり親なんです。20歳であろうが18歳に引き下げても、やはり親なんです。いくらスマホやSNSを通じて何か調べるとか検索しても、法テラス・消費生活センターなどに若い人が相談してくるのは皆無だそうです。よほど困り果てて、親が警察に相談する子供と一緒にくるのはまれにあるようです。またここまでくればかなり事が重大になっているようです。そこまでいかないように、その手前で何とか出来る社会を作るしかないですね。学校での道徳教育なんか今は無いようだし、人任せ？教育や指導しないまま、あっという間に成長してしまう。(自分の子供もそうだった)

一つの提案として、どんな形であれ社会参加の枠を広げ、世代の違う人と接触する機会をどんどん増やすことが良いのではと思います。例えばこの「消費生活モニター」も18歳以上にしたら良いと思う。各学校に参加を依頼するなど。また前回の「くらしのセミナー移動学習」なんかも、若い人も一緒に学習する機会を与えると良いではないでしょうか。

モニターから No. 10

2年後に成年年齢が引き下げられるという決定済みのことなので、今さら是か非かと言うことではない。しかしながら長い間20歳を基点としていたので、分かってはいても納得することが難しい。

問題点はたくさんあると思うが、私が心配なことは
・悪徳商法 ・詐欺被害 ・クレジットカードの作成等
ではないか。今までは未成年は解約出来たと思うが、これからはそれが出来ない。自己責任ということになってしまう。しかも18歳といえば高校3年生にあたる。以前だったら固定電話での勧誘も、今はスマホやパソコンの普及により親の知らないうちに契約出来てしまう。

学校や家庭の教育が大事ではあるが、あと2年でどうなるのだろうか。社会全体でよく考え、もっともっと注意喚起をしないと、私たちの想定以上のことが起こってしまうのではないか。オレオレ詐欺と同時に、若者への被害もアピールしていかないといけないと思う。2年なんてあっという間に来ってしまうのだから・・・。

モニターから No. 11

成年年齢が18歳以上に引き下げられるとはいえ、18歳はまだ世間では高校生で、親の保護下にあることに変わりはない。一般的には親が教育費を支払い学校に通っている中で、本人には経済力は全くない。そんな中で、いろいろな契約が自己責任のもとできるようになるからと言って、親の知らないうちにびっくりするようなことをやってしまう子供もいるかもしれない。本人の自覚の問題ではあるのだけれど、安易な契約はすべて自己責任でその責任を負うことができないのであれば、しないということをしっかりと教えていかなければならない。また、この機会

に乗じて、うまい話を持ち掛けてくる詐欺も横行することだろう。

困ったときには必ず両親や周りの人たち相談すること。うまい話には乗らない。自分で責任を持つことのできない契約は安易にしない。よく考えて行動することが大切になる。

モニターから No. 12

成年年齢引き下げについて書かせて頂きます。私は成年年齢が 18 歳に引き下げられる事によって、何がどのように変わるのか改めて確認させて頂く事にしました。その結果、問題は年齢では無く自分の行動にどれくらい責任が持てるかなのかもしれないと思いました。だとしたら、18 歳はまだまだ若く社会経験も少なく不安も多いと思います。なので、今の若者のニーズに合った気軽に相談出来る場所と方法を考えるべきかと思います。

これから日本を背負って立つ大切な人材です。社会が温かい目で見守って皆んなで育てて行かなければならないと思いました。